

東京藝術大学音楽学部

早期教育プロジェクト2026 in 東京

ヴァイオリン部門

2026年7月12日 [日] 10:30 開講 東京藝術大学音楽学部 第6ホール

講師 漆原 朝子 (東京藝術大学音楽学部 教授) / ピアノ 日下 知奈

- 10:35 受講生① (小6) テレマン：無伴奏ヴァイオリンのための12の幻想曲
TWV40:18 第5番 イ長調
メンデルスゾーン：ヴァイオリン協奏曲 ホ短調 Op.64
第1楽章
- 11:20 受講生② (中1) モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲 第4番 ニ長調 K.218
第1楽章
* * *
- 12:50 受講生③ (中1) ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲 第1番 ト短調 Op.26 第1楽章
- 13:35 受講生④ (中1) ブルッフ：スコットランド幻想曲 Op.46 第3,4 楽章
- 14:20 受講生⑤ (中2) バッハ：無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ 第1番
ロ短調 BWV1002 テンポ・ディ・ボレア
* * *
- 15:10 受講生による発表会
* * *
- 16:10 藝大生による演奏披露 ヴァイオリン：田村 咲葉 (東京藝術大学音楽学部4年)
フランク：ヴァイオリンソナタ イ長調 第1,2,4 楽章
イザイ：悲劇的詩曲 Op.12
- 16:40 講評・質問タイム

※公開レッスンを受講するお子様 (小・中学生) のプライバシー保護の観点より、
関係者(保護者・取材)および本学公式スタッフ以外の会場内での録音・録画および写真撮影は、固くお断りいたします。

早期教育プロジェクト2026 in 東京

藝大が地域と協働して取り組む、若き音楽家にむけた教育プロジェクト。2014年度に文部科学省国立大学機能強化事業の一環として始まり、藝大教員が日本各地に赴いて、子どもたちにレッスンをを行います。

東京藝術大学音楽学部「早期教育プロジェクト」は、音楽家を目指す子どもたちの夢を応援することを目的に2014年度に始まりました。全国のホールや自治体、さまざまな団体の皆さまに支えられ、また2018年度からは全日本空輸株式会社様からのご支援もいただき、本学の教員が日本各地を訪れています。13期目となる2026年度は9都市での開催を予定しています。国際情勢が益々不安定化し、昨今の物価高騰や社会の硬直化は若き音楽家にとって好ましいものではありません。そのような状況下私たち大人は日本各地に住む音楽家をを目指す若者たち——瑞々しい感性と柔軟な表現力を持つ若者たち——の熱意に応える義務があるのではないのでしょうか。彼らは本日来場した皆さまの音楽への熱量に触れるたびに、互いに刺激し合い音楽を深めることの意義を感じています。このプロジェクトが一つのきっかけとなって、夢へ向かう気持ちや音楽することの喜びが地域にいつそう広がることを心から願っております。

東京藝術大学音楽学部長 福中 冬子

講師

漆原 朝子 (うるしはら あさこ)



東京藝術大学附属音楽高等学校在学時に日本国際音楽コンクールにおいて最年少で優勝。ジュリアード音楽院卒業。1988年N響定期公演デビュー後、ニューヨーク、およびワシントンリサイタルデビューを果たし、いずれも絶賛を博す。その後はマルボロ音楽祭、ザルツブルク音楽祭、ルツェルン音楽祭などに出演、ホルスト・シュタイン、フェルデナント・ライトナー、エサベッカ・サロネン、イルジー・ビエラフラヴェクなどの指揮者と南西ドイツ放送響、ボルティモア響、プラハ放送響、モスクワ国立響、ミルウォーキー響、ワルシャワ・フィル、ミュンヘン室内管などのオーケストラと共演する他、N響、読響、都響などの日本の主要オーケストラと度々共演している。巨匠ピアニスト、ベリー・シュナイダーとは25年以上にわたりデュオを組み、CDも相次いでリリースしており、極めて高い評価を得ている。現在、東京藝術大学教授、大阪音楽大学特任教授。

ピアノ

日下 知奈 (くさかちな)



©武藤章

ケルン音楽大学を首席で卒業。東京藝術大学大学院修了。第14回園田高弘賞ピアノコンクール第3位、併せてメシアン賞受賞。数々のコンクールで入賞。第3回東京音楽コンクール第3位。2007年バロックザール賞受賞。2009年摂津音楽祭、2019年日本演奏家コンクール伴奏者賞受賞。2021年日下紗矢子とのシューマンヴァイオリンソナタ全曲演奏会では雑誌「音楽の友」にて批評家が選ぶコンサートベストテン、また「忘れがたいこの一曲」の一つに選出された。2023年からは若手演奏家を紹介する室内楽シリーズを開催。国内各地で室内楽奏者として幅広く活躍している。東京藝術大学弦楽科伴奏助手、国立音楽大学附属高等学校・中学校講師。

藝大生による演奏

田村 咲葉 (たむら さくは)



2004年神戸市出身。4歳よりヴァイオリンを始める。第18回ミュージック・アカデミー in みやざきにて優秀賞。第31回宮崎国際音楽祭に出演。アントン・ルービンシュタイン国際コンクール(ドイツ)第2位。第23回大阪国際音楽コンクール第2位。第15回ベートン音楽コンクール全国大会第1位。東京藝大青葉の風音楽賞等受賞。飯森範親指揮山響、センチュリー響、高関健指揮藝フィル等と共演。学内選抜による「藝大定期室内楽」第51回に出演。2014年度から2022年度まで「佐渡裕とスーパーキッズ・オーケストラ」に在籍、2022年度コンサートミストレスを務める。ヴァイオリンを漆原朝子、野口千代光、室内楽を山崎貴子、萩原麻未の各氏に師事。現在、東京藝術大学音楽学部器楽科4年在学中。